

KIDS センター Cafe

No.51
2022.1

大人の本棚

絵本を子どものために読んであげることで大切だけれど...
大人になった私・母になった私、そんな自分自身のために、
今日は絵本を聞いてみませんか？



えほん

ありえない設定の連続。でもページをめくるにつれて、段々とそれもありかも...なんて思えてくる。「いそのこと思いやり運命に流されてみましょう」流された先にある景色は自分が思っていた場所とはちがうけれど、意外にいいかもね。雰囲気のあるイラストにもう、ソソです。



KIDSセンターにもおいてあります。

20年ほど前のCMで使われた、谷川俊太郎さんの詩「朝のワレ」夜中の授乳で一人ぼっちに感じた時にこの詩を思い出しました。孤独に感じるこの瞬間、実は私は交替で世界を宍ているのかも！なんて。世界のどこかで始まる朝へバトンをつなごう。



えほん

最初にアメリカで出版されたのは、半世紀以上前の1945年。内田也哉子さんの詩的翻訳にすいわれます。子育てだけに追われている気がして、私も毎日何してるんだらう？って思うときこそ、手にとってほしい1冊。日常に当たり前にあるもの。何でも興味があって。最後の一文まで、じっくり味わってみてください。



詩集

活字をよむのがしんどい時は写真をみるだけでもいやすよ